

2023年

7月18日(火) - 9月9日(土)

その生涯は、戦争の時代と重なっています。創作に命をかけた青年は、この時代をどう見つめ、文学へと昇華していったのでしょうか。生誕110年、新美南吉の文学と人生に迫ります。

「こんぎつね」手袋を買いに」など、多くの作品が子どもから大人まで愛されている文学作家・新美南吉。1913(大正2)年に現在の半田市で生まれ、1943(昭和18)年、29歳という若さでこの世を去りました。



a. 『赤い鳥』創刊号(1918年) 1931年5月号に童謡「窓」が初入選。後に「正坊とケロ」「こみ狐」も掲載された。
b. 半田中学校卒業の記念に親友らと(右端)
c. 安城高等女学校で4年間担任した19回生の卒業記念に(1942年3月)
d. 日記(1929年3月2日、半田中学校3年生)
e. 読書をする南吉(東京外語学校のころ)

余の作品は、余の天性、性質と大きな理想をきかしている。だから、これから多くの歴史が展開されて行く。今から何百何千年後でも、若し余の作品が、認められるなら、余は、其地に再び生き書き出来る。此の占に於て、余は美に幸福と云ふ。

新美南吉の 生きてきた時代 文学と戦争と平和

ピースあいち 夏の特別展

安城高等女学校教員時代の南吉▶



開館時間 ■ 11:00~16:00 (最終日は15:00まで)
休館日 ■ 日曜日、月曜日
観覧料 ■ 大人 500円 小中高生 200円
(入館料大人300円、小中高生100円を含みます)
会場 ■ ピースあいち 3階展示室ほか
後援 ■ 名古屋市教育委員会
資料提供 ■ 新美南吉記念館

【博物館相当施設】
戦争と平和の資料館 **ピースあいち**
〒465-0091 名古屋市名東区よもぎ台 2-820
TEL&FAX 052-602-4222



この展示会は「東海地域NGO活動助成金」(宗教法人真如苑と名古屋NGOセンターとの協働事業)の助成を受けています。

【同時開催】 プチギャラリー(2階) かすや昌宏さんの 『こんぎつね』の絵本展

映像でもご覧
いただけます

絵本作家。教科書の挿絵(「こんぎつね」小学国語4年ほか)を手がける。1978年ボローニャ国際児童図書展批評家賞など受賞多数。



市バス・地下鉄でのおでかけが便利でお得です。
ドニチエコきっぷ・一日乗車券・24時間券
を利用してご来館の方は、入館料割引!

[大人] 500円 → 450円 [小中高生] 200円 → 150円
※ドニチエコきっぷ「一日乗車券」「24時間券」は、ゆめーとライン(高栄区間)、名鉄バス、あおみ線、リノモでは利用できません。



ご利用開始後の有効期限内のドニチエコきっぷ等の一日乗車券、24時間券を提示するだけで、名古屋市内の施設・飲食店等で割引等の特典が受けられます!
※詳細は地下鉄駅で配布している特典ガイドブック「なごや得ナビ」をご覧ください。(管理〜8/14)

ピースあいち 夏の特別展

新美南吉の 生きた時代

文学と戦争と平和



ピースあいち 南吉 童話の森 2階

本を読んだり、お話を聞いたり、お絵描きをしたり、テレビを観たり…。
ゆっくりと南吉の世界にふれてください。

【展示内容】

〔1〕南吉を育んだ半田・岩滑
南吉の作品には、生まれ育った故郷の風景がよく登場します。優秀な成績で小学校を卒業し半田中学校(現・愛知県立半田高等学校)に入学。幼い頃から創作活動に励みました。

〔2〕近代文学との出会い

そして戦争の時代へ

児童雑誌『赤い鳥』への投稿を機に児童文学者・巽聖歌に見いだされ、1932(昭和7)年、東京外国語学校に入学。4年間の学生生活は、南吉を大いに成長させました。

〔3〕安城での希望の教員生活から

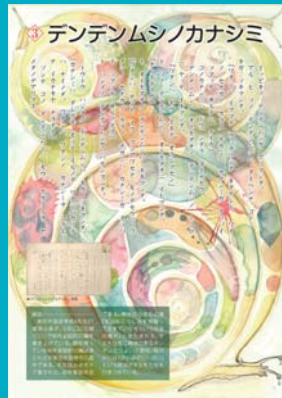
無念の死まで

病で帰郷後、苦難の末、1938(昭和13)年、安城高等女学校に職を得た南吉。教師として作家として、充実した時でしたが、時代は戦争へと突き進みます。そして…。

〔4〕戦争の時代を生きた南吉

― 非戦と平和への願い ―

自由に作品を発表できない戦争の時代、南吉はこれをいかに乗り越えるか、苦悩の中で社会の矛盾、平和にも目を向けています。彼の優しい眼差しを日記や作品から探ります。



野村郁夫氏の美しい絵と共に
新美南吉の作品を紹介します。

関連イベント

観覧料で参加できます。①～③は要予約(Tel.052-602-4222)。詳しくはホームページをご覧ください。

①7月18日(火)
ギャラリートーク
11:00～
3階企画展示室



今回、展示会のために新美南吉の作品を絵で表現してくださった野村郁夫氏(元美術教師、元小学校校長。現在も美術指導にあたる。安城市在住)に、作品への思いをお聞きます。

②7月22日(土)
講演会
『南吉とその生きた時代』
14:00～15:00
1階交流のひろば
山本英夫氏



新美南吉記念館第4代館長、知多管内小学校元校長

③7月29日(土)
新美南吉朗読会
13:30～14:30
1階交流のひろば
ピースあいち朗読の会「オリブ」による朗読会。演目は「手袋を買いに」、「貝殻」他。



④8月19日(土)
作って鳴らそう「貝殻笛」
随時(所要時間15分位)
1階交流のひろば
「かなしきときは貝殻鳴らそう。二つ合わせて息吹きをこめて。…」(詩「貝殻」)。南吉が鳴らしていた貝殻笛を作って鳴らしてみよう。貝殻は用意しています。



夏の戦争体験を語るシリーズ

ピースあいち1階 交流のひろば

8月1日(火)～15日(火) 14:00～15:30 (11回) (定員制・要電話予約)

ピースあいち語り手の会会員、語り継ぎボランティアによるお話。詳細はピースあいちHP、ツイッターでご確認ください。

[博物館相当施設] 戦争と平和の資料館

ピースあいち

- 開館時間 11:00～16:00 ○ 休館日 日曜、月曜
- 入館料 大人 300円 小中高生 100円

ピースあいちの常設展示

- 第1展示 愛知県下の空襲
- 第2展示 戦争の全体像・15年戦争
- 第3展示 戦時下の暮らし
- 第4展示 現代の戦争と平和



〒465-0091名古屋市長区よもぎ台 2-820
TEL&FAX 052-602-4222
<https://peace-aichi.com/>



- ▶ 地下鉄東山線「一社」①出口から北へ徒歩12分
- ▶ 地下鉄東山線「上社」から市バス上社11系統「じあみ」下車、西へ徒歩3分
- ▶ 駐車場(有料(300円)2台)(障がい者用無料1台)

新型コロナウイルス感染拡大等の状況によっては、臨時休館または展示・イベント等の内容の変更があります。電話やHP、ツイッターでご確認ください。